

# Grand Toit News

グラントワニュース

vol. 77  
Spring 2024

島根県芸術文化センター  
SHIMANE ARTS CENTER  
石見美術館  
IWAMI ART MUSEUM  
いわみ芸術劇場  
IWAMI ARTS THEATER

企画展紹介 「本当の美しい暮らしとは？  
中原淳一の仕事をふりかえる」

●特集 企画展「111年目の中原淳一」関連プログラム  
「グラントワ・マルシェ 2024」開催！

劇場事業紹介 「『ダイバーシティいわみ事業』の  
取り組みと今後について」

●「グラントワのおすすめ」  
島根邦楽集団定期演奏会  
尺八四重奏団「破竹」登場！

ゴールデンウィークも  
全日開館！

中原淳一とはどんな人ですか？

『それいゆ』をはじめとした女性雑誌を世に送り出し、雑誌編集をはじめ、ファッション、インテリア、イラストレーションなど領域をまたいで、多くの仕事を手がけたクリエイターです。1935（昭和10）年ごろから戦後にかけて活躍しました。

一人でそんなにたくさんの仕事を  
したのですか？ もう少し詳しく  
訊きたいです。

自作の創作人形が評価され、人形展を開催したのが19歳の時です。この展示がきっかけとなり、雑誌『少女の友』に挿絵を描くことになりました。西洋的で大きな瞳と細長い手足をもった美しい少女イメージは既存のものを刷新し、当時の若い女性たちに熱狂的に支持されました。1935（昭和10）年1月号から5年以上同誌の表紙を飾りましたが、昭和15年6月号を最後に『少女の友』を降板。戦争へと突き進む時代に、その少女像が当局に不適切なものととらえられたためです。

中原は、雑誌制作に関わった経験から、雑誌や本というメディアの影響力を熟知していました。『少女の友』を辞めるのとほぼ同時に初の単行本『きものノ絵本』

企画展「111年目の中原淳一」について、  
担当学芸員の南目美輝さんに見どころをうかがいました。

## 本当の 美しい 暮らしとは？ 中原淳一の仕事をふりかえる



図1 『きものノ絵本』 1940年 個人蔵

を刊行、そこで『少女の友』に載せることができなくなった少女像(図1)を発表します。

終戦から一年後の1946（昭和21）年8月には女性誌『それいゆ』

を創刊します。「女性のくらしを新しく美しくする」というキャッチフレーズのもと、ファッションやインテリアといった実用的な内容とともに、文学や音楽など

教養に関する記事も併せて載せ、知識や美意識に支えられた「美しい暮らし」を提案しました。

終戦後間もない時期には、通常の暮らしすら厳しかったと思いますが。

そうなんです。困難な状況のなか中原は『それいゆ』に続いて少女雑誌『ひまわり』を創刊しています。中原は自身が主宰する雑誌で、ものがない厳しい時代でも、手元にあるものを工夫して服(図2)やインテリアを自分らしく美しく整えることなど、読者自身が「愉しく」実践できる暮らしの工夫を多数提案しました。さらにまた、雑誌の編集はもちろん、挿絵や特徴的な手書き文字、レイアウトにいたるまで誌面の隅々までディレクションし、雑誌全体で「中原淳一の世界観」を表現しました。

ところで今、中原淳一の仕事を  
振り返る展覧会を開催するのは  
なぜでしょうか。

ロボットデザイナーの松井龍哉は少女ロボットを作る際に、中原の作品を参照したと言い、その理由として彼の描く少女像が「嫌味なく可憐」「ヨーロッパ志向で、モダン」で「みんなが憧れる世界を作りあげ」ている



図2 木綿の袴のスカート 1955年 個人蔵  
撮影：山本康平  
© JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA 2024

ことをあげています。さらに「クリエイターにはまだ誰にも見えない未来を描くことに対して責任があり、中原先生はそれを見事に成し遂げてしまった」と語っています（本展図録 220,221頁）。中原は未来への明確なヴィジョンを持ち、それを体現するために雑誌制作を軸に多彩な活動を行いました。戦後間もない混沌とした時代に「暮らし」という視点から女性にさまざまな提案を行った中原の仕事は、先を見通すことが難しい現在においても、私たちに多くの気づきを与えるはずで

「いつまでも古くならないもの」  
—— それこそがむしろ  
もっとも「新しい」ものだといえないでしょうか。  
人生はスカートの長さではないのです。

2024年4月20日(土)  
—6月17日(月)

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで)

【休館日】毎週火曜日

【観覧料】当日券／一般：1000(800)円、大学生：600(450)円、  
小中高生：300(250)円

前売券／企画・コレクション展セット 900円

※( )内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料  
※各種障がい者手帳、被褥者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料  
※前売券は、ローソン各店(Lコード:63978)、  
グラントワ総合案内カウンターで(開館前日まで)お求めいただけます。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、朝日新聞社、日本テレビ  
【後援】芸術文化とふれあう協議会 【協力・監修】ひまわりや

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

## 中原淳一 111年目の



原画原画「中原淳一プラス集」 1955年 個人蔵 © JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

関連プログラム

オープニングギャラリートーク

本展監修者である中原利加子さんをお招きし、

作品の魅力についてお話いただけます。

講師：中原利加子(株式会社ひまわりや 代表取締役)

日時：4月20日(土) 14:00～15:00 会場：展示室D 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

スペシャルトーク

中原淳一のクリエイションから影響を受けたというマツオヒロミさんに、

その魅力について語っていただきます。

講師：マツオヒロミ(イラストレーター・島根県出身)

日時：5月18日(土) 14:00～15:00 会場：講義室 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

MUSEUM×THEATER vol.22

中原淳一が活躍した時代に思いをはせる音楽プログラムを開催します。

出演：かとうかなこ(クロマチック・アコーディオン)、

岡崎泰正(ギター)、SIMA(ヒューマンビートボックス)

日程：6月2日(日) 会場：「グラントワ」大ホール ステージ上

料金：前売 1,000円/当日 1,500円

※詳細は当館ホームページをご確認ください

家族みんなで展覧会を楽しもう！

子どもWeek! 4月27日(土)～5月12日(日)

上記の期間、小・中学生は観覧無料。

※年齢の確認できるものを持参ください

障がいのある無や年齢などに関わらず、芸術文化を身近に感じてもらうとうと様々な取り組みを行う「ダイバーシティいいわみ事業」。2021年にスタートした本事業は、地域で活動する実演家やまちづくり、教育、福祉など分野の異なる団体や個人が連携しながら展開しています。劇場と地域とが有機的に繋がりがりながら、誰もが安心して表現や鑑賞の場に参加できることを目指す本事業の取り組みについて紹介します。

# 『ダイバーシティいいわみ事業』の取り組みと今後について



2023年 にぎやかな学校 (於・餅地柿木)

機会そのものが限られているという地域課題もあります。そのような中、今年4月に施行される「改正障害者差別解消法」や、劇場法でうたわれる芸術文化を通じた「地域コミュニティの創造と再生」を鑑みながら、劇場のもつノウハウと機能を活かし、地域の様々な分野の専門家と連携しながら、石見地域ならではのバリアフリーな取り組みを展開しています。

## ネットワークの場と実践の場

2021年に地域とのネットワーク作りの一環としてまちと福祉と芸術文化について考えるオープンミーティングを実施しました。福祉、教育、障がい者芸術活動に関心のある方などが集まり今後石見地域で福祉と芸術文化がどのように関わり合う事が出来るかをみんなで話し合いました。この話し合いから石見では実践の場として音楽会を開催する事になり、2021～2023年

まで継続して音楽会「にぎやかな日々」、出張版として吉賀町で「にぎやかな学校」を実施しました。今年度も地元で活躍されている演奏家と一緒に誰もが安心して楽しんでもらえるイベントを目指して取り組んでいます。

## 今後の取り組みについて

吉賀町で「にぎやかな学校」を実施した時に感じた事は、様々な理由で劇場に足を運びにくい方々へ文化芸術に触れていただける機会を増やしていきたいという事です。地域の方と交流し地域課題について話し合い、その地域にとって今何が必要かを一緒に考えていくことに今後も取り組み続けていきたいと思えます。劇場だけで考えるのではなく、既に地域で活動をされている方との情報共有を図り、そして共に暮らしていく地域の皆さんと一緒に誰もが安心して参加が出来るイベントを作り上げていきたいと思えます。

## 地域を取り巻く課題について

いいわみ芸術劇場は、多様な方々がホールや地域施設での鑑賞公演や表現の場を楽しめることを目指しています。一方で近隣に鑑賞・体験の場が少なく、人口減少や過疎高齢化などによって



2021年 にぎやかな日々 (於・江津市総合市民センター)



2022年 にぎやかな日々 (於・益田市総合福祉センター)



2023年 にぎやかな学校 (於・餅地柿木)

# LIFE with グラントワ

## 音のピラミッド「グラントワ」

グラントワとの御縁の始まりは東京アーティスト合奏団の創設者である故山岸宜公氏からグラントワ弦楽合奏団へのセミナーのお話でした。仕事柄遠方まで車で移動するのは慣れていましたが、年に2回大阪から益田までコントラバスを積んで車で行くのは正直過酷な距離で、ある冬の季節には大雪に見舞われチェーンを履いていても容赦なく車

が回転した日もありました。そんな事もありながら、セミナーの中で団員との信頼関係を築き、コロナの訪れにより島根に指導に行けない時期もありましたが合奏団との御縁は切れる事がなくむしろ強靱なものになっていきました。私は島根の伝統文化に感銘を受けていて、訪れる度に身の引き締まる思いになります。ドイツ留学を経て身に付いたヨーロッパの伝統的な技術や文化を可能な限り伝えていきたいと考えています。これからのグラントワ弦楽合奏団が奏でるノンフィクションの音を心で感じてもらいたいです。

〔東京アーティスト合奏団 石川 徹〕

# PICK UP EVENT



企画展「111年目の中原淳一」関連プログラム  
グラントワteaガーデン「フルーツポンチ」  
2024年5月19日(日) 10:30～  
美術館ロビー

石見美術館では、企画展にご来館いただいたお客様へ企画展にちなんだ飲み物をご提供する「グラントワteaガーデン」を行っています。ふるまう飲み物は、企画展毎にアテンダントが趣向を凝らして準備しています。

今回のグラントワteaガーデンは、企画展「111年目の中原淳一」にちなみ、中原編集の雑誌『ひまわり』掲載の「フルーツポンチ」のレシピをもとにした、冷たい飲み物をご提供します。展覧会と合わせて、お楽しみください。

〔料金〕参加無料(ただし企画展観覧券、またはミュージアムバスポートが必要)  
※先着100名(予定数に達し次第終了)

# 劇・場・を・探・る



## 【台本】

「台本」とは、演劇・催し物などの進行を書き記したものです。演劇のようなセリフやト書きと言われる動きや状況が書かれているものや、講演会などの催し物の進行をまとめた進行台本があります。台本・進行台本は、出演者や舞台・音響・照明などの舞台技術者や公演に関わる人が共通認識を持って稽古や本番を進めていくために必要なものです。

次回は「仕込み図」です。

**島根邦楽集団**  
第18回定期演奏会  
ゲストに尺八四重奏団「破竹」登場！  
ジュニア邦楽塾の子どもの演奏も！  
邦楽の魅力満載の楽しいステージをお届けします！  
2024年 3月3日(日) 開場 13:00 開演 13:30  
いわみ芸術劇場小ホール  
入場料 [全席自由・税込]  
[一般前売] 2,000円 [当日] 2,500円 [高校生以下] 500円  
※未就学児入場不可  
チケット好評発売中  
ゲスト/尺八四重奏団「破竹」

**グラントワ弦楽合奏団**  
第11回 定期演奏会  
2024. 3. 10日 開場 13:30 開演 14:00  
いわみ芸術劇場小ホール  
入場料 ※全席自由・税込  
[一般] 前売 1,000円 当日 1,500円  
[高校生以下] 無料 ※未就学児入場不可  
プログラム  
●2つのヴァイオリンのための協奏曲 二長調 BWV1043 (J.S. バッハ)  
●カノン (J. バッハ) ●天国と地球 (J. オッフェンバック)  
●アナザー・スカイ (柴加瀬太郎) ●「カルメン」序曲 (G. ビゼー)  
●弦楽セレナーデ 長調 作品48全楽章 (P.I. チャイコフスキー)  
チケット好評発売中  
グラントワでは3年ぶりとなる定期演奏会皆さまのご来場お待ちしております。

益田 島根県無形民俗文化財指定  
**糸操り人形**  
グラントワ 定期公演  
地域で受け継がれてきた伝統芸能、益田糸操り人形。古い形態をとどめた全国的にも貴重な人形芝居の公演を、ぜひグラントワでご鑑賞ください。  
チケット好評発売中  
2024年3月17日(日)  
いわみ芸術劇場小ホール 開場 13:00 開演 13:30  
演目 伽羅先代萩 政岡忠義の段 ほか  
人形と三味線の解説あり  
入場料 [全席自由・税込]  
一般 500円(前売・当日同料金) 高校生以下 無料  
※無料託児サービスはありません。

劇団四季  
JESUS CHRIST SUPERSTAR  
ジーザス・クライスト=スーパースター  
[エルサレム・バージョン]  
2024年 8月22日(木)  
いわみ芸術劇場大ホール  
圧倒的リアリズムを追求した浅利演出、キリスト最後の7日間に迫る。  
開演時間、入場料、チケット発売日等、詳しい内容は決まり次第、HP等でお知らせします。

企画展「111年目の中原淳一」関連プログラム

# 「グラントワ・マルシェ 2024」開催!

5/3 (金・祝)

毎年恒例のゴールデンウィークイベント「グラントワ・マルシェ」。今年マルシェは、4月20日から開幕する企画展「111年目の中原淳一」に合わせ開催します。「グラントワ・マルシェ」を通じて中原淳一の世界を体験してみよう!

ワークショップコーナー～ハンドメイドや、工夫することの楽しさを体験してみよう!

中原淳一は戦中から戦後に、手元にある布切れを工夫して美しく組み合わせるスカートや着物などを雑誌で紹介し、服に“自分らしさ”を工夫して加えていく楽しさを提案しました。そんな中原にち



なみ、身近にある物などを使った様々なものづくりが楽しめるブースが出店します。ぜひ“工夫して作る”楽しさを体験してください。

食のコーナー～マルシェ初のキッチンカーも登場!

マルシェの目玉でもある食のコーナー。毎年楽しみにして下さっている方も多いのでは? 今年は、戦後現れた移動式屋台から形を変えながら日本に普

及し始めたと言われるキッチンカーが初登場しますよ♪美味しいお料理やスイーツでお腹も心もいっぱい満たしてくださいね。

音楽、ぬりえ、スタンプラリーなどのコーナーも充実!

1951(昭和26)年4月、中原淳一は憧れのパリへ向かいましました。きっと街の至るところでジャンソンなど素敵な音楽が流れていたことでしょう。今回のマルシェでは、中原淳一が過ごした

パリや活躍した時代に流行していた音楽をお楽しみいただけるミニコンサートなども開催予定。他にも、館内を巡って「111」を探るスタンプラリーや、企画展をイメージしたイラストを使ったぬりえコーナーなど、子どもから大人まで世代を超えてお楽しみいただける企画が盛りだくさんです。今年ゴールデンウィークはぜひ「グラントワ・マルシェ」でご家族やお友達と楽しいひとときをお過ごしください!

※内容は変更する場合があります。※掲載の画像はイメージです。

「グラントワ・マルシェ 2024」  
2024年5月3日(金・祝) 10:00～15:00 ※小雨決行  
[会場]グラントワ中庭広場ほか(入場無料/飲食・物販等は有料)



## Grand Toit's RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



島根邦楽集団定期演奏会  
次世代を担う  
若手実力派尺八四重奏団  
「破竹」登場!

グラントワのフランチャイズ団体である島根邦楽集団の第18回定期演奏会では、ゲストに尺八四重奏団「破竹」を招き、邦楽の魅力をお余すところなくお届けします。

「破竹」ゲストステージでは、古典「砂山」からアニメ・時代劇のメドレーなど親しみやすい曲の演奏まで幅広く演奏します。伝統的な和楽器・尺八の楽しさをぜひ感じてください!

今年の定期演奏会のプログラムは、古典「青柳」の演奏で厳かに演奏会をスタートし、川村泰山作曲「夢見草」、石見地域から集まったジュニア邦楽塾の小中学生による「さくらさくら」演奏、後半は「破竹」のゲストステージで盛り上がり、最後に島根邦楽集団創始5周年記念委嘱作品「飛翔」(高橋久美子作曲)で演奏会の幕を閉じます。華やかな邦楽の調べを心ゆくまでお楽しみください!

※公演の詳しい情報は2ページ下の広告欄、グラントワHPをご覧ください。

尺八四重奏団「破竹」  
Shakuhachi Jonyuusoudan HACHIKU  
鯨岡徹の呼びかけにより、次世代を担う若手実力派尺八奏者4人により2008年に結成。4人の生み出すサウンドは尺八の伝統的魅力はもちろん、尺八の新しい可能性を感じさせ聞く人々を魅了する。伝統的・古典的な尺八の技法を交えながらアレンジされた、ポピュラー、演歌、童謡などジャンルを問わないアンサンブルは「破竹」ならではの楽しみである。より多くの人々に尺八の魅力をお届けするため、破竹の勢いで活動中!

## みさき美術館にようこそ



大下藤次郎  
《檜原湖の秋》  
1907(明治40)年  
コレクション展  
「海の旅・山の旅  
大下藤次郎の水彩画」  
5月8日(水)～6月23日(日)  
会場:展示室A

コレクション展「海の旅・山の旅 大下藤次郎の水彩画」について、担当学芸員の川西由里さんにきいてみました。

Q1. 旅がテーマということですが、どんな絵がありますか?

明治時代の水彩画家、大下藤次郎は絵になる風景を求めて、日本中、そして遠くはオーストラリアまで旅行しました。「海の旅」では、航海中に目にしたダイナミックな海原や港町の情景を、透明水彩ならではの美しい色彩でお楽しみいただけます。

Q2. 日本国内では、どんな場所に行ったんですか?

登山を愛した大下は、清々しい山々や湖水の写生を多く残しました。穂高山や檜原湖、猪苗代湖などの光景は、一般の清涼剤のように私たちの心を癒してくれます。また、100年前の東京近郊の風景は今と全く違っているので、「時間の旅」も味わえると思います。

## The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

専門学芸員 左近充直美



横山大観  
《水温む》

1954年 紙本墨画 当館蔵

白と黒だけで構成される世界は、一見とてもシンプルですが、壮大なストーリー性をはらんでいます。例えばこの作品、横山大観《水温む》を見ていくと、水墨画特有の濃淡のある筆致で溪谷が描かれています。切り立った崖に一筋の滝が見えますが、あたりに人の姿はなく、おそらく普段人が立ち入ることのない山奥の一角だと想像されます。時間帯まではわかりませんが、なんとなく朝のような澄んだ空気が感じられます。厳しい冬が

終わりに、人知れず春が訪れたことがわかるのは、川から飛び跳ねた一匹の魚の弾む動きと、川面に漂うふわりとした空気の色感から。日本画は描かれていない部分(紙の白)にも空間を感じさせる手法をとりませんが、本作には、具体的な説明はせずとも「視覚的に感じる」という心地よさがあります。

あなたのまちで味わう芸術文化

### グラントワ 館外公演事業

いわみ芸術劇場の大・小ホール再開後も、文化芸術を楽しんでいただけることを目的に開催します。

鑑賞公演や芸術体験を開催!

### グラントワ アウトリーチ事業

石見地域の学校や地域施設を中心に芸術文化をお届けします。

各公演の日程、会場等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします

Grandtoit 美術館

情報発信 イベント チケットもぎり  
グラントワが大好きだという方  
ワークショップ

## ボランティア会 大募集!

グラントワの裏側をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。  
経験がなくても大丈夫。  
すでに活躍中のボランティアスタッフと一緒に、楽しく時間を過ごしませんか?

お問い合わせはグラントワまで  
TEL 0856-31-1860

場内案内 発送作業 生花活け込み

劇場 グラントワに興味のある方  
Volunteers

## 石見美術館コレクション展

展示室A  
コレクション展 日本美術と詩歌  
3月20日(水・祝)～5月6日(月・祝)  
コレクション展 海の旅・山の旅 大下藤次郎の水彩画  
5月8日(水)～6月23日(日)  
※「美術館にきてみよう」参照

展示室B  
コレクション展 白と黒の世界  
4月10日(水)～6月2日(日)  
※「The Collection わたしのおすすめ」参照  
コレクション展 印刷物の中の森英恵  
6月5日(水)～7月22日(月)  
展示室Bはメンテナンスのため、6月24日(月)～28日(金)まで閉室します。

展示室C  
コレクション展 ロシア・アヴァンギャルド  
3月13日(水)～5月6日(月・祝)  
コレクション展 ファッションプレートと日本の大正、昭和のイラストレーション  
5月8日(水)～6月23日(日)

・(一章)として、葛飾北斎の若き日の作品が展示されていたが、その量に圧倒された。生涯に描いた絵の総数はどれくらいあるのか?(二章)の展示も楽しみだ。(益田市・40代/企画展「石見特別版 永田コレクションの全貌公開(一章)北斎一「春朗期」・「宗理期」編)・素晴らしい内容でした。もっと多くの方に見て欲しいし、私もまた見たいです。ありがとうございました。クリスマスイブに、たくさんのプレゼントをいただきました。(山口市・50代/[オペラシアターこんにゃく座 オペラ「あん」])  
・佐々木さんの朗読と美留町先生のお話、すごく良かったです。特に気に入りは、二女のジャケットのお話し好きでした。遠かったけど来て良かったです。回遊演劇、思いのほかおもしろかったです。(埼玉県・50代/ミュージアム vol.21「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」)

# Grand Toit & / リレーでコラム 11

山本健夫 (いわみ芸術劇場総務広報課長)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。  
第11回は、総務広報課長・山本健夫さんです。

私にとってのグラントワと  
言う森英恵さんが思い浮か  
びます。

毎年カーネーションを送っ  
たりしていた母の日のこと。

当時10歳だった私は、「今  
年はいつもとは違うプレゼン  
トを贈ろう」と百貨店に連れ  
て行ってもらいました。色々  
見て回ると、ショーケースの  
なかの大きな蝶が刺繍され  
たハンカチが目が留まりました。

金色の糸がとても綺麗で、  
HANA MORIとプリントさ  
れていました。贈ったハンカ  
チを母が使ってくれているの  
を見る度に、何だか嬉しい気  
持ちになったものです。

月日が経ち、島根出身の  
ファッションデザイナー、森  
英恵さんの存在を知ること  
になります。グラントワが開  
館すると、美術館に森さんの  
作品が多数収蔵されること  
になりました。今こうして働い  
ていると、勝手ながら不思議

な縁を感じてしまいます。

学生時代、演劇に興味を  
持ったことから、劇場での取  
組みも好きです。舞台のある  
一場面を映像のように覚えて  
いることがあります。息を  
呑む瞬間、生の舞台の緊張感  
を気に入っています。

何か人の記憶に残る仕事は  
すばい、といつも思います。

グラントワには、美術館で  
も劇場でも中庭でも、思い思  
いに人が集います。忘れられ  
ない、人に語りたくなる空間  
を届けられるよう仕事に励み  
たいと思います。



※画像はイメージです

今回は朝山百合香さん(グラントワ総務担当)の予定です。

## 報告します!

企画展「建築家・内藤廣 Builtと  
Unbuilt / 赤鬼と青鬼の果てしな  
き戦い」関連プログラム

映画「ハーモニー」上映&ス  
ペシャルトーク「未来の都市をどう  
描く? 建築×アニメ」



当日の様子

企画展「建築家・内藤廣」に、  
内藤廣さんが伊藤計劃原作のSF  
アニメ「ハーモニー」に提供し  
た未来の都市や乗り物のデザ  
インを展示したことにちなみ、  
11月5日(日)に益田市内の映画館  
「Shimane Cinema Onozawa」と  
のコラボ企画を開催。映画の上  
映後、内藤さんと、当時内藤事  
務所でこのお仕事を担当された  
建築家の湯浅良介さん、そして  
アニメ制作会社、STUDIO4℃の  
プロデューサー・田中栄子さん  
の3人のお話をうかがいました。

アニメ制作の裏側や、お三方  
のお仕事に対するスタンスなど多  
彩な話題が展開し、約80名の参  
加者が興味深く耳を傾けました。

### 参加者の感想

映画(アニメ)と内藤さんの  
組み合わせが意外でしたが、想  
像力を膨らませるという意味で  
は共通するところがあるのだな  
と思いました。(東京都・40代)

グラントワ・カンタート2024  
街角でもコンサートを開催



歌聖を祀る柿本神社での演奏

2017年から益田と松江で開催  
してきた合唱の祭典「カンタ  
ート」。コロナ禍と耐震工事を  
経て5年ぶりに全日程をグラント  
ワで開催し、全国各地から22の  
合唱団、約500名が年始の交通  
混乱の中、益田に集まってく  
れました。

1月6日は声楽家や作曲家の本  
音に触れるワークショップに始  
まり、井戸端交流会議で年齢や  
地域を超えた合唱人同士の対  
話が白熱。柿本神社と萬福寺  
では街角コンサートが盛り上  
りました。7日のコンサート  
では各合唱団が日頃の練習の  
成果を発揮して心安らぐ、心  
沸き立つ演奏で拍手を浴びま  
した。また二つの新曲が合同  
合唱で初演されグラントワ全  
体に響きました。

### 参加者の感想

益田にいながら初めて知  
ったコンサートです。昨日人  
麻呂神社でたまたま聞いて  
素敵だったので来たいと思  
います。(益田市・70代以上)

素敵な会場で、皆さんに温  
かな歓迎を受けて交流や演  
奏ができ、大変良い機会とな  
りました。(福島県・30代)

地元の合唱団の方との交流  
や美味しい食べ物、お酒を  
堪能しました。(茨城県・40代)

## グラントワ通への道

Q. グラントワの職員でも知っている人が少ない  
建物の秘密があれば教えてください!

A. 「グラントワ(フランス語で「大きい屋根」とい  
う意味)」の建物を大きく印象づけている石州  
瓦でつくられた切妻屋根の鬼瓦には、グラント  
ワ設計者・内藤廣さんの建築設計事務所のロゴ  
マークが入っています。肉眼ではほとんど見え  
ないので知っている人は少ないかも!?



## 読者 プレゼント

石見美術館 企画展  
「111年目の中原淳一」  
招待券をペア10組様に  
プレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。  
ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、3月31日(日)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.77 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: g-present@cul-shimane.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

オーナーシェフが腕によりをかけて創るこだわりの料理をお愉しみください。

ケーキやドリンクなどもご用意しています。

Restaurant Pony

■営業時間 ※イベントにより変更あり夜は予約のみ  
11:30~16:30 (14:00~カフェタイム)  
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始  
■TEL / 0856-31-1873  
www.restaurant-pony.com/

111年目の中原淳一 企画展

複製デザイン スカーフ 3,850円

期間限定販売 4月20日(土) - 6月17日(月)

企画展「111年目の中原淳一」にちなんで関連グッズを期間限定で販売いたします。展覧会とあわせてお楽しみください。 ※価格はすべて税込です

複製デザイン しおりセット 990円

複製デザイン ポストカード 単品 165円 / 32枚セット 3,300円

上製ノート「花の日記」 1,870円

MUSEUM SHOP con amore

■営業時間 / 9:30~17:00  
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始  
■TEL / 0856-31-1874  
www.grandtoit.jp/shop/

Follow Us! 最新の情報をいち早くお知らせ

「グラントワ」公式 Facebook @grandtoit.jp

「石見美術館」公式 Instagram @iwamiartmuseum

「グラントワ」公式 X @grand\_toit

「グラントワ」公式 YouTube @grandtoit

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催されるコンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」に関する様々な最新情報を随時更新中。

グラントワ 会員募集中!

「グラントワ」では、3つの有料会員と無料のオンラインチケット会員の制度を設けています。有料会員様には様々な特典のご用意と、毎月郵送で最新情報をご提供します。文化・芸術に触れる機会と時間を増やし、グラントワと共に人生を彩ってみませんか?

有料会員のご入会お申し込み

「グラントワ」総合案内カウンター(無料オンラインチケット会員のご入会はグラントワHPから)で随時受付中です。各会員の詳しい特典と内容は、グラントワHPをご覧ください。

2024 イベント スケジュール 好評配布中!

2024年度に行われる石見美術館の展覧会やいわみ芸術劇場の主な公演情報を手に入れよう。  
※全国の提携美術館・主要文化施設で配布しています。

グラントワのイベントスケジュールはHPからもご覧いただけます。  
www.grandtoit.jp/schedule/

## 編集後記

■新年明けてもう1ヶ月。年女、本厄というなんともざわざわする1年を健康に安全に過ごすべく一刻も早く厄払いへ行きたいものです。[M.A]

■ゴールデンウィーク開催の「グラントワ・マルシェ 2024」。今年もワクワクするような催しをたくさん考えています。ぜひお越しください! [T.Y]

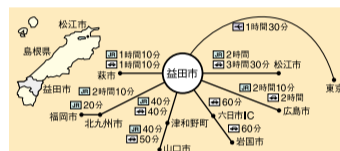
■年が明けたと思ったら、あっという間に立春を迎えました。昨年より始めた新居探しは難航続きですが、物件検索が新たな趣味になりました。[S.N]

■量販店にて、年の頃60代と思われる男性がいなり寿司用の揚げを手に入れている所を目撃。真似て同じ揚げを購入後、きつねうどんにして食す。[T.T]

## INFORMATION

■開館(利用)時間  
※グラントワは8:45から開館  
石見美術館 9:30~18:00 (展示室への入場は閉館30分前まで)  
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)  
※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。  
石見美術館 毎週火曜日、年末年始  
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始



交通案内  
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分  
◎JR益田駅から徒歩15分  
◎秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分  
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分  
◎JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit  
島根県芸術文化センター「グラントワ」  
〒698-0022 益田市有明町5-15  
TEL: 0856-31-1860(代表)  
FAX: 0856-31-1884(代表)  
e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp  
www.grandtoit.jp